

2024 April **4** VOL.10
MICHINOKU MONTHLY

みちのく

Lion

ライオンズクラブ国際協会
332-A地区キャビネットライオンみちのく編集局

「全日本ずぐり回し選手権大会」を支援 (黒石烏城LC)

2月10日(日)、黒石市冬のイベントとして雪を固めた土俵の上で、津軽伝統遊具のコマ「ずぐり」を回し、その回る時間を競う「全日本ずぐり回し選手権大会」が、幼稚園保育園児から高齢のベテランまで150人の老若男女が参加し開催されました。

今年の大会は、コロナ禍もようやく過ぎ参加者が多く賑やかな大会となりましたが、例年になく暖冬小雪のため、肝心の土俵造りの雪の確保に困っていたところ運よく前日の降雪で無事「ずぐり回し競争1, 2, 3!」の大きな掛け声で始まる熱戦が繰り広げられました。

そんな大会を黒石烏城ライオンズクラブでは、これまでメンバー数名を審判員として派遣協力、サポートして今年で継続17年目の奉仕となりました。集合時間から競技終了までの4時間以上屋外での奉仕ですが、会長L泉充彦をはじめメンバーL5名が協力し、津軽の伝統文化を次世代に伝承させようと、熱い心で雪上の競技を見つめました。

黒石烏城ライオンズクラブ
幹事 L後藤 英輝



第70回
年次大会も
よろしくお願
いいたします!

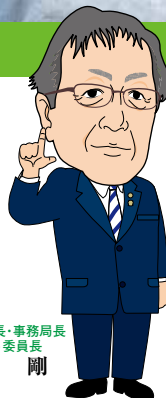


The International Association of
Lions Clubs District 332-A 2023-2024 Aomori Japan

キャビネット事務局員
佐藤 裕子



運営委員長・事務局長
Lクエスト委員長
L高田 剛



キャビネット事務局員
藤田 美智子



洋蘭に魅せられて -10-

今月は、7月号に掲載したパフィオペディラム属の原種4種を紹介します。



種名:bellatulum
ペラチュラム

ミャンマー(ビルマ)・タイの標高1300m~1600mに自生する地生種。プラキペタラム亜属に属します。交配親に多用されています。中高地に自生しているため、夏は涼しくして育てます。栽培はやや困難。花径は横8cm×縦8cm程。(不定期咲き)



種名:godefroyae
ゴデフロイエ

マレーシア・ベトナム・中国雲南・タイに自生する地生種。プラキペタラム亜属に属します。ペラチュラムとコンカラーとの自然交配種といわれています。風通しを良く涼しくして育てます。花径は横8cm×縦7cm。(不定期咲き)



種名:armeniacum
アルメリアカム

中国の雲南に自生する地生種。パービセパラム亜属に属します。新芽は花をつけるまで5年~7年は必要です。ひと回り大きい鉢に植えると咲きやすい。冬期は低温で栽培します(10℃位)。花径は横9cm×縦8cm。(主に春咲き)



種名:micranthum
ミクランサム

中国の雲南に自生する地生種。パービセパラム亜属に属します。新芽は花をつけるまで5年~7年は必要です。冬期は低温で栽培します(10℃位)。花径は横7.5cm×縦10cm程。(不定期咲き)

(提供) L 長尾 幸治 (青森中央LC)



■ パティ・ヒル国際会長メッセージ Changing the World

■ 332-A地区ガバナーテーマ Think Globally Act Locally —— 地球規模で考え 足元から行動しよう

■ 332複合地区アクティビティスローガン 東北はひとつ!! 共に進もう友愛と相互理解の精神で!!

■ 332-A地区アクティビティスローガン チンギン コンズァン 青銀共創 若者とシニアが、互いに理解しあい、共に学び、 共同でイノベーションを起こそう!

CONTENTS

■ 第3回 キャビネット会議	03	■ 中古メガネリサイクル事業の贈呈式	11
■ 1R1Z・2Z 第3回ガバナー諮問委員会	04	■ クローズアップ・アクティビティ(スポーツ特集)	12
■ 3R1Z 第3回ガバナー諮問委員会	04	■ クローズアップ・アクティビティ	14
■ 2R1Z・2Z 第3回ガバナー諮問委員会	05	■ クラブアクティビティ	15
■ 4R1Z 第3回ガバナー諮問委員会	06	■ 第13回 青森県産酒・新酒を楽しむ夕べ	19
■ 4R2Z 第3回ガバナー諮問委員会	06	■ Tomoshihi+(ともしびプラス)寄付金贈呈式	19
■ 5R1Z・2Z 第3回ガバナー諮問委員会	07	■ メルビン・ジョーンズ・フェロー献金	20
■ 4R1Z・5R合同ニューメンバースクール	07	■ LCIF献金クラブ / LCIF100キャンペーン献金	20
■ 青森縄文ライオンズクラブ結成20周年記念式典	08	■ 物故会員 / 新入会員紹介	21
■ 八戸三八城ライオンズクラブCN45周年記念式典	09	■ 会員動向	22
■ 能登半島地震災害復興支援報告	10	■ LIONS DAY LCIF人道支援「平和への祈り」お知らせ	23
■ 弘前大学アイバンクHP贈呈式	11	■ 編集後記	24

2023-2024 ライオンズクラブ国際協会332-A地区
第3回キャビネット会議 2月3日(土)

第3回キャビネット会議が、2月3日(土)弘前パークホテルに於いて、次期への会議準備も含め、67名の参加を頂き、開催されました。

司会は、L太田キャビネット副幹事。開会宣言は、L庄司キャビネット幹事。L奈良岡キャビネット副会計より出席者紹介を頂きました。

L大矢ガバナーより、昨年からの秋田市・いわき市豪雨災害の災害支援として、災害緊急支援積立金より、各30万円の送金報告。LCIFへの寄付送金報告。年明けの能登半島地震への災害支援の継続的な支援の要望。現地支援として炊き出しや小中学校の給食支援としてのりんごジュース5,000本を計画。年次大会前夜祭の「LIONSDAY」平和への祈りについて、ウクライナ現地報道からの幼い少女のメッセージに対して、無関心ではない事。ナターシャ・グジーさんのコンサートと日本ライオンズ田名部理事長と、地球への貢献をテーマにスペシャルティクラブ会長とのパネルディスカッションの計画。説明・挨拶頂きました。

L庄司キャビネット幹事、L来海GMCコーディネーター、L岡田LCIFコーディネーター、L長尾青少年健全育成・Lクエスト委員長、L太田国際協調・国際平和ポスター委員長、L太田GSTコーディネーター視聴覚言語障がい者福祉委員長、L松橋献血・糖尿病教育委員長、L加賀谷



キャビネット会計より11件の多くの取組メンバーの参加がありました。報告事項。続いて、10件議案審議では、9件の承認・1件の保留となりました。L大矢ガバナーより協議事項として、アラート委員会活動規定(案)について、説明され年次大会での議案提出が決まりました。

L加賀谷キャビネット会計より、閉会宣言にて終了となりました。

同日、弘前パークホテルに於いて、第3回GMA会議、第3回RC-ZC会議、第3回委員長会議、第3回名誉顧問連絡協議会、第4回GMA会議、第3回常任名誉顧問会議が開催されました。

全会議終了後、多くの参加にて懇親会が開催されました。これまで半期の活動の共有と感謝。今後の活動目標について、意見交換を行いました。

今回も、朝の8時30分から夜の20時頃迄運営から終了迄、各会議の進行をお手伝い頂きました方々、大変お疲れ様でした。



エコ解体と廃棄物処理のプロフェッショナル
大矢建設工業株式会社

2023~2024 332-A地区ガバナー GATファシリテーター
代表取締役 L大 矢 進

○事業内容/土木工事・解体工事・産業廃棄物処理・収集運搬
○販売品目/再生砕石・木材チップ・再生砂・RPF・再生土

■代表Tel: 017-739-5205 ■代表Fax: 017-739-6848
■HP: <http://www.ooyaken.co.jp/> ■E-mail: ooya-info@ooyaken.co.jp

- 本社: 青森県青森市大字野沢字川部63番地
- 処分場: 青森県青森市大字野沢字川部1-1外
- 荒川事務所: 青森県青森市大字荒川字品川126-1
- 盛岡営業所: 岩手県盛岡市南大通3丁目4-19
大矢建設工業株盛岡ビル4F

1R 1Z・2Z 第3回ガバナー諮問委員会

2月5日(月)

2月5日(月)アピオあおもりにおいて1R三役会終了の後、予定時刻より35分遅れの19時20分より開始となった。1Zは7クラブ24名、2Zは7クラブ20名の参加のもと1Zは1ZCのL木村真也、2Zは2ZCのL黄金崎亨の進行にて諮問会議が行われました。

9項目の諮問事項について、各クラブより順次説明がありました。各クラブとも会員増強には苦戦しながらも会員維持にも努めており、1R全体としては3名増という結果。微増ではありますが、現段階では健闘していると感じられました。

諮問事項の終盤、1Zでは能登半島地震復興支援募金活動や現地で炊き出しをしてきた青森ZERO



LCの活動報告がありました。実際、現地へ出向き炊き出しを行ってきたのは並大抵のことではなく、参加者からは労苦をねぎらい多くの賛辞が寄せられました。また、輪島LCからの要請もあり2月10日、11日の二日間再び避難所での炊き出し支援を行うとのこと。体調に気を付けて活動されることを願い、激励して閉会となりました。

同じく2ZではL黄金崎ZCより、会費の割引を受ける会員種別「特典会員」についての説明がありました。いままでは「割引会員」と言われていましたが、2024年1月1日より訳語を「特典会員」とする旨の話がされ、閉会となりました。

IT・機関紙委員 L澤田 義治



3R 1Z 第3回ガバナー諮問委員会

2月13日(火)



3R 1Zの第3回ガバナー諮問委員会が、2月13日(火)平川市「さるか荘」で開催されました。

ZCのL福士誠造が議長となり、9項目の諮問事項について、4クラブ会長から報告がありました。

各クラブとも会員増に苦労している中で、会員12名の田舎館LCから2名増員目標に頑張っていることが報告され、既に1名は入会され、目標達成が期待されました。

又、合同アクティビティでは、黒石LCと黒石烏城LCから平和ポスター展と献血キャンペーンを行っていることが報告されました。

最後にZCのL福士誠造から第70回年次大会の日程と行事内容の



説明があり、又、RCのL加藤正彦から3Rの会員名簿の完成報告と能登沖地震災害直接支援への協力についてのお願いがあり、諮問委員会は終了しました。

「4クラブで2回目の合同例会」

3R 1Z(黒石・平賀・黒石烏城・田舎館LC)の今年度2回目の合同例会が、2月13日(火)、平川市「さるか荘」で開催されました。

今回は、周年行事のPRタイムを設け、3R 2Zの五所川原LCから会長L今一憲ら3名をお迎えし、69名が参加しての開催となりました。

平賀LC会長L森内貴彦のゴング、4クラブを代表して黒石烏城LC会長L泉充彦の開会のあいさつがありました。



各クラブ幹事から幹事報告があり、田舎館LC会長L浅利守のゴングで会議を終えました。

引き続き、平賀LC L三浦稔の司会進行で、黒石LC会長L八木橋旬一の開宴のあいさつ、3R・RC L加藤正彦のウイ・サーブのご発声で懇親会がはじまりました。

周年行事PRタイムでは、五所川原LCから4月20日(土)のCN60周年記念式典参加の呼びかけがあり、ステージいっぱい横断幕と五所川原立俣武多の威勢の良いかげ声に、会場からも「ヤッテマレ! ヤッテマレ!」の大合唱がおり、会場は大いに盛り上がりました。

又、各テーブルでは、懇親を深めながらも、会員増強の厳しい現状やクラブ運営の悩みなど、合同懇親会ならではの情報交換が見られました。

ZCL福士誠造のライオンズ・ローアと参加者全員による「また会う日まで」を行い、平賀LC会長L森内貴彦のお礼のこぼで懇親会を終了しました。

3R1Z機関誌特派員 L中畑 忠弘

2R1Z・2Z 第3回ガバナー諮問委員会 2月26日(月)



今年度の2R1Z・2Zガバナー諮問委員会もいよいよ第3回目となり、2月26日(月)18時より弘前パークホテルにて行われました。

2R1Z・ZCL木村和生の開会ゴングののち、各ゾーンに分かれ諮問会議に入りました。

1Zでは、3月10日2R合同アクテビティ、3月18日2R・3R合同アラートセミナーについて、2Zでは、日頃のクラブ運営に関する問題点について、また目標をたて継続して会員増強活動をしている事例など活発な意見交換がなされておりました。

なかでも2Zの諮問会議があまりに盛りあがったせいか、GETコーディネーターL山内竜一と2R・RC L福士秀文が1Zの会議にとうとう最後まで顔をみせずに終わってしまった!! というちょっととしたアクシデント(笑)もございました。

会議終了後、2R・RC L福士秀文の乾杯の発声で懇親会が始まりました。前回の取材でも感じたのですが、2Rのクラブの方々は皆仲が良く今回も大変盛り上がり、どうやらその勢いで4回目もありそうに盛んに日程調整の案が会場に飛び交っておりまして。

最後は、全員で輪になり、また会う日までを歌い、弘前LC第一副会長L横山航平のライオンズローアで締め、弘前西LC 2R2Z・ZCL 椛澤睦子の閉会ゴングでお開きとなりました。参加の皆様おつかれさまでした。

2R1Z機関誌特派員 L小笠原 博史



Dream & Hope to the Future!!

総合建設コンサルタント(測量/設計/3次元計測/補償/地質)



今だ! 攻めろ! 技術のアーコンサル!!

GMTコーディネーター

取締役会長 L 来海 伸博 (青森中央LC)

青森市大字田茂木野字阿部野1-5

TEL (017) 738-1700 Fax (017) 738-8577

無料査定・買取も致します。

借りたい 貸したい 買いたい 売りたい

詳しくはホームページにて!

(公社)青森県宅地建物取引業協会会員
株式会社 **アート不動産**
2R2Z ゾーン・チェアパーソン 代表取締役 椛澤 睦子
☎0172-31-8131 弘前市本町34番地1

4R1Z 第3回ガバナー諮問委員会

2月28日(水)

2月28日(水)18時より三沢市「きざん三沢」にて、4R1Z第3回ガバナー諮問委員会が開催されました。三沢木崎野LC会長L高橋宏之の開会の辞の後、諮問委員会の出席者の確認、立崎ZCより挨拶を頂き、諮問会議に入り、初めに引き続き会員維持・増強に努めて欲しいとの依頼がZCより各クラブにありました。引き続きLCIF20・100^{ドル}献金状況の報告の後、実施していないクラブに協力をお願いがありました。食糧支援、新規アクティビティの報告が各クラブよりあり、諮問会議が



終了しました。L中野渡RCより講評を頂いた後、野辺地LC会長L市ノ渡丈廣の閉会の辞で諮問委員会を閉じました。

諮問会議終了後懇親会が行われ、十和田LC会長L雇地三起の乾杯の発声を頂き約1時間程美味しい料理に舌鼓をうちながら懇親を深めました。最後に十和田稲生LC会長L岩城孝氏のローア三唱にてお開きとなりました。本日出席された皆様大変お疲れさまでございました。

4R1Z機関誌特派員

L大澤 祐一郎



4R2Z 第3回ガバナー諮問委員会

3月1日(金)

3月1日18時より、むつグランドホテルにて332・A地区4R2Z第3回ガバナー諮問委員会及び連絡協議会が開催されました。

協議会幹事のL花部訓の司会のもと、東通LC会長L奥島貞一が開会の辞を述べ、L石川大輔ZCの挨拶に続き、各クラブ代表から諮問書への回答が報告されました。



次に連絡協議会の審議では、年次大会に向けてのガバナーアワードの要望、次期ZC選出の件、アラートセミナーが3月29日に三沢市で開催することにに向けて参加のお願いがありました。

最後に第二副地区ガバナーのL藤田鉄哉からは、献金の継続や三役セミナーへの参加のお願いなどの講評で閉会しました。

その後の懇親会ではむつみらいLC会長L吉田美和子の開宴の挨拶に続き、協議会顧問のL祐川和人の乾杯で、一時間程度各参加クラブの代表が意見交換の場として有意義な時間を過ごし、むつLC会長L中村亨の閉会の挨拶で和やかに終了しました。

4R2Z機関誌特派員

L竹本 博典



5R1Z・2Z 第3回ガバナー諮問委員会 3月4日(月)

5R 第3回ガバナー諮問委員会が令和6年3月4日(月)18時30分より八戸グランドホテルにて行われました。

最初に、八戸中央ライオンクラブ幹事L米倉智の司会の下、5R・RC八戸ライオンズクラブL田頭初美のご挨拶があり、1Z・ZC八戸城北LC L日向俊男の進行により諮問会議が始まりました。

会議は、議案(1)ガバナー諮問事項について(2)5Rローテーションの進捗状況について(3)5R会員名簿作成進捗状況(4)その他(各クラブより連絡など) (1)では、各クラブから提出されたガバナー諮問事項に基づいて議論が交わされました。(2)では、5Rローテーション、各クラブの3月～6月までのアクティビティやチャーターナイトのご案内があり確認しました。(3)では、少し遅れている、間もなく完成し郵送される旨の報告がありました。

諮問委員会終了後は、同会場にて懇親会が開催されました。八戸うみねこライオンズクラブL石黒一寿の開会の言葉で開宴し、各クラブ情報交換を行いながら楽しいひと時を過ごしました。その後ライオンズ・ローアを行い、2Z副ZC L花田均より閉会の言葉があり終了となりました。

5R2Z機関誌特派員
L小田 喜八郎



4R1Z・5R合同
ニューメンバースクールセミナー

2024年 2月9日(金)

2月9日(金)4R1Z・5R合同ニューメンバースクールが、「きざん三沢」にて開催されました。午後6時に開会し、4R1Z・ZC L立崎新吾の開会の辞の後、5R・RC L田頭初美にご挨拶を頂き、本日の講師であるL小山石敬の紹介を4R・RC L中野渡勝春より頂いた後セミナーが開始されました。

本セミナーに於いては、ライオンズクラブの用語の説明や組織、それぞれの役割等をわかりやすく講義していただきました。受講されたニューメンバーの皆様は大いにライオンズクラブの基礎的な知識を学んで理解されたことと思います。講師のL小山石敬のユーモアたっぷりの講義であったという間に時間が過ぎ約30分のセミナーが終了しました。貴重な講義誠にありがとうございました。その後1R・RC L木立精一より講評を頂きました。

セミナー終了後は修了証の交付が行われ、5R1Z・ZC L日向俊男の開会の辞で閉じました。



引き続き行われた懇親会に於いては、2R・RC L福士秀文の乾杯のご発声で開会し約1時間程懇親を深め、「また会う日まで」の後、最後に3R・RC L加藤正彦のローアで閉会となりました。

当日は、オブザーバーとして1・2・3RのRCにご臨席たまわり、総勢39名の参加を頂き盛況のうち閉じました。参加された皆様大変お疲れさまでございました。

4R1Z機関誌特派員
L大澤 祐一郎



青森縄文ライオンズクラブ結成20周年記念式典

3月2日(土)



3月2日(土)ホテル青森において青森縄文ライオンズクラブ20周年記念式典が執り行われました。

青森縄文LCは、2004年3月20日、青森中央LCのスポンサーにより3321A地区では初めての女性だけのクラブとして、また県内72番目のクラブとして誕生しました。

式典は青森北高等学校吹奏楽部の伴奏で青森縄文LCオリジナル曲「愛をこめて、ウイ・サーブ」の歌で開会しました。この曲はメンバーのL石澤美加の作詞作曲です。

20年のあゆみのスライド上映の後、L太田美紀の司会で式典が始まりました。L高坂千枝子の開会宣言、会長L工藤美智子の開会ゴング、国歌、ライオンズクラブの歌を全員で斉唱、物故ライオンへの黙祷と続きました。御来賓並びに地区役員・構成員、参加クラブの紹介の後、大会実行委員長L大山由紀子の挨拶では「クラブ誕生に特にご尽力いただいた、当時の地区ガバナーL珍田良作(現名誉顧問)の教えであり願いでもある、女性ならではのきめ細やかさで社会に奉仕することを念頭に活動してま

いりました。20年の節目を迎え、初心に返り、これからも地域社会と人道奉仕に取り組んでいく所存であります。」と決意が伝えられました。

続いて小谷知也副知事、西秀紀青森市長、一般社団法人日本ライオンズ理事長L田名部智之、地区ガバナーL大矢進より祝辞を頂きました。地区ガバナーL大矢進からは「結成以来女性の目線に立ち、奉仕されてきました。貴クラブは年を追うごとに、様々な変化したアクティビティを行っています。それはまた一貫して弱者に光を当て続けている、揺るぎないアクティビティなのです。ヘアードネーションを始め良い事は皆で行う、そこからまた素晴らしいイノベーションが起こると思います。次のステージも期待しております。」と言葉を頂きました。

最後にスポンサークラブ青森中央LC会長L山本真奈美からの祝辞がありました。20周年記念アクティビティは、地域活動支援センター「ワークあかり」へ事業助成金25万円、青森県立中央病院へ医療的ケア児支援の為に医療材料費20万円、青森県立青森北高等学校へ演奏活動助成金10万円と発表され、L工藤美智子会長よりそれぞれに目録が贈呈されました。

続いて小児がんで闘病する子供たちを笑顔にするプロジェクト、ヘアードネーション賛同美容室「アレイズ」へ地区ガバナーL大矢進より感謝状が贈呈されました。スポンサークラブ青森中央LCへ記念品が贈られ、長期在籍アワードL浅利陽子20年、L横嶋エリ17年を、ガイディング・ライオンL来海伸博から送られました。

その後、謝辞が会長L工藤美智子からあり、閉会宣言、閉会ゴングで式典は定刻通りに終了しました。

祝宴に移り、司会はL大山由紀子が担当しました。L柳町 幸から開宴の挨拶があり、乾杯に進めようとした時にサブライズで、2022年に縄文LCがエクステンションした青森OceanLCから日本酒の一斗樽が差し入れされました。早速、鏡開きへと進み、名誉顧問L珍田良作の乾杯の発声で祝宴が始まりました。

アトラクションはエルヴィス☆トキの歌と踊りで大いに盛り上がりました。中でも60年代のドレスに着替え、ポニーテールを結った縄文LCのお嬢様達の踊りは圧巻でした。続いてテールツイスター登場では、公認ガイディング・ライオンL千葉幸司からドネーション227,400円の発表があり会場がどよめきました。

第二副地区ガバナーL藤田鉄哉のライオンズ・ローア三唱の後、会場いっぱい一つの輪になり、「また会う日まで」の大合唱、最後にL田中桂子の閉宴の挨拶で記念式典はお開きとなりました。

L工藤美智子会長が謝辞の中で、縄文LCメンバーへの感謝の気持ちとして言った「少ない人数でも一人ひとりの違いを認め、無いものなだりせず、蛍の光でもまとまれば輝きます。これからも牛歩のごとく、ゆっくりと歩んでいきましょう。」この言葉に今回の式典成功と縄文LCの発展と纏まりを感じた筆者でありました。

1R2Z機関誌特派員
L 藤森 憲



八戸三八城ライオンズクラブCN45周年記念式典

3月16日(土)

令和6年3月16日(土)八戸プラザホテルアーバンホールにて、八戸三八城ライオンズクラブ認証45周年記念式典が開催されました。開会宣言並びに開会ゴングは会長L立花敬之が行いスタートしました。式典には八戸市長熊谷雄一様を始め、多くの来賓、キャビネット役員の方々などが招待され、総勢130名が参加しました。



式典では来賓の皆様から祝辞をいただき、スポンサークラブへの記念品贈呈、姉妹クラブである苦小牧ハスカップライオンズクラブへの記念品贈呈、チャーターメンバーへの記念品贈呈が行われました。45周年記念アクティビティは、
 ○八戸市「子どもファースト事業」への協力(無料複合遊具「三八城公園への設置」贈呈、600,000円)
 ○八戸市公共施設への展示(孫内あつし作品「クレヨン画」贈呈、400,000円)

であることがアクティビティ委員長L富岡朋尚より発表され、会長L立花敬之より熊谷市長に目録が贈呈されました。ライオンズローアは第二副地区ガバナーL藤田鉄哉が行いました。開会宣言、閉会ゴングを会長L立花敬之が行い、式典は終了となりました。

式典後の祝宴はCN45周年実行委員長L土屋政保の御礼の言葉の後、一般社団法人日本ライオンズ理事長・3321A地区常任名誉顧問L田名部智之よりの御挨拶を頂戴し、第一副地区ガバナーL吉澤俊寿のウイサーブで始まりました。会場では、ソプラノ歌手山本ア子さん、ピアノの猿楽さんによる歌と演奏が披露され、祝宴に花を添えてくれました。アトラクションではお楽しみ抽選会が行われ、大いに盛り上がりしました。最後には参加者で大きな輪を作り、また会う日までの合唱を行い、会長L立花敬之の御礼の言葉で温かな雰囲気の中お開きとなりました。

5R1Z機関誌特派員
 L道尻 浩助



能登半島地震災害復興支援報告

ライオンズクラブ国際協会332-A地区アラート特別委員会



今回の支援にあたり先ずは能登支援の初動として全国のクラブが被災地入りし、その情報が発信された事から始まりました。

334D地区からは「今はステイ」という指示が出ていたため今できる事を地区で取り組みました。支援ができるようになったら必ず活動しようという意欲も重なり332-A地区内のクラブが自発的に募金活動を行いメンバー間で「被災地に対し直接支援を」という気持ちでさらに加速しました。

1月中旬から能登町で一週間の炊出し支援を行っていた青森ZERO LCの情報をもとに能登町のニーズを探り学校給食で飲み物が欲しいというニーズ、輪島市の避難所が温かい食事がとれていないというニーズを熟すことになりました。

2月9日の朝6時に炊出し隊が弘前市を出発し約1,200kmの被災地を目指しました。翌日から輪島市の地域生活支援「ウミユードウソラ」という避難所をはじめ大屋小学校、鳳至小学校・輪島市社協・役場等、避難所を中心に昼食約350食、夕食約350食、1日約700食を6日間トータル約4,200食の炊出し支援を行いました。MENUは青森らしく「はたて海鮮中華丼」「八戸せんべい汁」「十和田バラ焼」など全8種類のMENUが提供された。

また能登町学校給食支援には、332-A地区名誉顧問会議長L岡田が、自らりんごジュース5,000本を運搬し能登町役場に搬入しました。そして2月12日、能登町へL大矢地区ガバナーが直接入り、能登町長に対し目録を贈呈しました。その際能登町の子供達が役場に来てくれて和やかに贈呈式が行われました。

今回の支援にあたり332-A地区アラート委員会が軸になり、クラブを動かし、地区支援が出来たことが何よりの収穫でありましたし、今回の支援活動にあたりMD332より活動資金の提供が大変ありがたかったです。

332-A地区アラート特別委員長

L木村 知紀



弘前大学アイバンクHP贈呈式

2月28日(水)



2月28日(水)弘前大学医学部付属病院に於いて、視聴覚・言語障がい者福祉委員会のアクティビティとして、3期念願の公益財団法人弘前大学アイバンクHPリニューアル支援を弘前大学大学院医学研究科・眼科学講座・教授の上野真治氏に贈呈されました。

会場にはL大矢ガバナー、L太田視聴覚・言語障がい者福祉委員長、L松橋同公益財団法人理事が訪れました。

L大矢ガバナーより古くからライオンズの歴史にあるヘレンケラー女史からの「暗闇と戦う盲人のための騎士になってください」とのメッセージから視覚障がい者福祉や視力保護の活動について説明。今後の角膜移植の為に献眼登録にお役立て頂きたいと挨拶されました。

上野教授からは、本HPを献眼事業

公益財団法人 弘前大学アイバンクHP



として献眼・角膜提供への啓蒙と献眼登録の推進・活用に活かしていきたいとの挨拶・感謝を頂きました。

当日は、報道2社の取材を頂き、翌日早速掲載頂きました。今回、私たちメンバーも改めて、献眼登録・角膜提供への理解をしていく事の必要性を学ぶ機会になりました。

<https://hirosaki-ophthalmology.com/eyebank/>

中古メガネリサイクル事業の贈呈式

2月28日(水)

第47657号 (第一種郵便物認可)

本県を区域とするライオンズクラブ国際協会3322が、多くの人の「視力」を

中古眼鏡 途上国に／献眼HP更新

ライオンズクラブ332-A地区

江波会長（後列左から2人目）に中古眼鏡が入ったボックスを渡した荘内さん（前列左から2人目）と工藤さん（同3人目）＝青森市の東中学校

変える事業に取り組み、28日は青森市の東中学校（校長 菅原 夫校長）から中古眼鏡1本の命を受け、市内の小中学校からも不要となった眼鏡を回収し、仙台市の障害者施設で検品した後、発展途上国に贈呈される。同校で行われた贈呈式では、生徒を代表して荘内会長（1年）と工藤副会長（2年）が「青森のcleanライオンズクラブが、この機会に眼鏡が入った箱を手渡した。荘内さんは「眼鏡をかけた目にも留まり、献眼登録につながってほしい」と話した。

※2024年2月29日付 東奥日報掲載記事

2月28日(水)青森市立東中学校に於いて、青森Oceanライオンズクラブのアクティビティとして、青森市立東中学校の生徒様を代表してお二人より、L江波会長へ中古メガネの贈呈を頂きました。

会場には、青森市立東中学校校長・袴田康夫様、L大矢ガバナー、L太田GSTコーディネーター、L遠藤キャピネット副会計 青森Oceanライオンズクラブ・L能登谷幹事、L福田会計が訪れました。

L大矢ガバナーより、ライオンズクラブのグローバル重点分野の「視力保護のアクティビティの一環として、「中古メガネリサイクル事業」について説明。青森市内・平内町の小・中・高88校より中古メガネ回収のご協力とライオンズクラブから1本あたり50円の寄付



を行い、仙台市の障がい者施設にて清掃・検品を行い、必要としている各国へ送り活用を頂く事。挨拶・感謝されました。

生徒様お一人より、一つでも多く届く事と大切に使用して欲しいとお話し有りました。

当日は、報道1社の取材を頂き、翌日早速掲載頂きました。今回、私たちメンバーも改めて、「中古メガネリサイクル事業」への関心と協力の必要性を学ぶ機会になりました。

Close up ACTIVITY Sports

クローズアップ アクティビティ
スポーツ特集

今月は、各クラブのスポーツに関するアクティビティをクローズアップしてご紹介いたします。

**弘前津軽LSC
第11回小学生卓球大会**
2月12日(日)

2月12日(日)、弘前市民体育館で弘前津軽ライオンズクラブ第11回小学生卓球大会が開催されました。



弘前卓球協会、陸奥新報社共催、市、市体育協会後援。この卓球大会は長きにわたり津軽地区9ライオンズクラブが合同で開催してきた歴史があり14年前から弘前津軽ライオンズクラブが継承し、今大会が11回目となります。開会式ではL薔苗博英会長らがあいさつし、選手代表が宣誓して競技が開始されました。

コロナウイルス感染症が5類に移行し、4年ぶりとなる今大会には市内の小学生7チーム39人が6年生以下(ホープス)、4年生以下(カブ)の男女各シングルスでトーナメント戦を展開。小さな可愛い子から大人顔負けの技術を持った子まで日頃の成果を競いました。競技の後、表彰式で上位3位まで賞を貰い解散となりました。

**青森みらいLSC
第1回AMLU・12
ファイナルカップ
フットサル大会**
2月12日(日)

2月12日(日)第1回AMLU・12ファイナルCUPフットサル大会開催。選手120名、参加L7名。



**弘前チエリーLSC
2024弘前チエリー
ライオンズクラブU-14
サッカー大会**
2月23日(金)祝

2月23日(金)祝日、平川市平賀総合運動施設ひらかドームで2024弘前チエリーライオンズクラブU-14サッカー大会が開催されました。コロナ過で開催されていませんでしたが今回で4回目の大会の開催となります。

この試合は「本大会を通しての競技力向上は勿論のこと、チーム間の交流をはかり、選手や指導者の親睦を深めるとともに青少年の健全なる育成を目指す。」という事で競技方法はトーナメント戦、12チーム7人制(試合時間24分)で行われました。





試合結果は優勝がリベロW、準優勝リベロR、3位リベロWRでした。閉会式では、佐藤正浩会長より3位までのチームが表彰され、横断幕の下で入賞チーム、大会関係者で記念撮影をして解散となりました。

この日は久しぶりに冬の寒い中での試合となりましたが、防寒対策をしっかりと行っていました。元気にボールを追って走り回っていました。

第22回
弘前西ライオンズクラブ
ドッジボール大会
2月25日(日)

2月25日(日)弘前市川西体育センターにて、第22回弘前西ライオンズクラブドッジボール大会が4年ぶりに行われました。

弘前西LCでは青少年健全育成事業にかかわるアクティビティが多くありその中でも、冬の体力づくりと友達を大切にする心を育むことが目的の主要なアクティビティのひとつです。

当日は、わざわざ地区ガバナーL大矢進もお見えになり祝辞をいただいたのち、10チーム約180人が熱戦を繰り広げ、福村ガッツのチームが優勝されました。



この大会は小学生が対象で学年のハンデ等は設けず戦う形となっておりましたが、特に印象に残ったのは男の子で小学校2年生くらいでしょうか：体のとても小さな子供で仲間が全員アウトになり外野に出てしまいました。たった一人になっても果敢に立ち向かう姿に少し感動を覚えました。



大会はお昼休みを挟み午後2時頃まで行われましたが、お昼にはクラブ恒例の熱々の豚汁が振舞われ長蛇の列ができあつという間に準備した300食が無くなってしまいました。が、味も良くとても好評でした。

最後に、大会の取材の印象は、弘前西LCの方々。当日は少人数ながら、協会に依頼した審判以外は大変御苦労だったと感じました。おつかれさまでした!!

Close up ACTIVITY クローズアップ アクティビティ 2R2Z 弘前チェリーライオンズクラブ

第38回薬害防止キャンペーン チョコチョコ大作戦

●日時/2024年2月11日(日) ●場所/弘前公園(弘前城雪燈籠まつり)

2月11日(日)弘前城雪燈籠まつり会場において「第38回薬害防止キャンペーン チョコチョコ大作戦」が行われました。これは薬物乱用防止を青少年に呼びかけるため、パンフレット、ポケットティッシュ、チョコレートを配布する活動です。このアクティビティも御多分に漏れずコロナ禍による3回の中止を経て4年ぶりの開催となりました。



今年は記録的な暖冬、小雪のなかでの祭りの開催でしたが都合の良いことに前日深夜に久々に積雪があり、当日も時折雪がちらつく場面もありましたが、まつりらしい情景となり全般的に好天に恵まれ親子連れの方など沢山の来場者にめぐまれた日でした。

クラブのメンバーは10:00に集合し、のぼりの設置とプレハブ内で皆黙々とポケットティッシュとチョコレートの袋詰め作業をおこない、500セット準備しました。その後、皆で分担し来場者の方たちにパンフレット配布から始め、12:00より大雪像前にてステージにおいて、薬物乱用防止の呼びかけをおこないながらチョコレートを配布しましたが、子供たちが殺到し、準備した500個があっという間に無くなってしまいました。

このアクティビティは、地道で先の見えにくい活動ですが、継続、その積み重ねによりやがて大きな力となると感じました。弘前チェリー LCの皆さんおつかれさまでした。



お探しの物件見つけます！

株式会社 フジタ不動産

代表取締役 L 藤田 鉄哉 (むつLC)
第二副地区ガバナー・LCIF副コーディネーター

〒035-0061 むつ市下北町5-17
TEL 0175-23-0909 ・ FAX 0175-23-0910
e-mail : yu1001me@eagle.ocn.ne.jp

350年の伝統を受け継いで

有限会社 二唐刃物鍛造所

高級刃物製造販売・建築鉄骨設計施工・金物工事一式

代表取締役
第一副地区ガバナー
GLTコーディネーター
L吉澤 俊寿
(弘前津軽LC)

〒036-8245 青森県弘前市金属町4-1
TEL.0172-88-2881・FAX.0172-88-2882 URL https://nigara.jp/

CLUB 2024 ACTIVITY

クラブ・アクティビティ **4月**

マンスリーレポートの報告で、記念式典や諸
会合出席、チャリティを伴わない大会参加
等は、アクティビティになりません。
本「みちのく誌」のアクティビティ欄には記載
されませんのでご了承ください。

1 R

■青森LC

2月14日 「1R元地区ガバナーを囲む合同例会」のドネーションを地区アラート委員会の能登半島地震災害への炊き出し支援金として地区キャビネットに送金。15,652円
(1R合計:162,500円)(公衆安全・災害支援)。

2月26日 青森市立浪打中学校においてL出町時彦(会長)が1学年70名の生徒に対して薬物乱用防止「ダメゼッタイ。」について講話。参加L3人。(3時間)(青少年・公衆安全)。

■青森とうとうLC

2月9日 能登半島地震災害直接支援協力をキャビネットに委託。金額17,000円。

2月26日 「1R元地区ガバナーを

囲む合同例会」ドネーションを、地区アラート委員会実施。能登半島地震災害への炊き出しに関わる支援金として、地区キャビネットに6,020円送金
(1R合計162,500円)。

■青森はまなすLC

2月8日 能登半島地震直接支援金として30,000円を拠出。

2月14日 地区アラート委員会実施。能登半島地震災害への炊き出しに関わる支援金として15,652円拠出。

■青森かもめLC

2月8日 能登半島地震災害直接支援協力を地区アラート委員会に10,000円送金(公衆安全・市民・アラート)。

2月14日 「1R元地区ガバナーを囲む合同例会」におけるドネーションを地区アラート委員会の能登半島地震災害への炊き出しに関わる支援金として地区キャビネットに8,428円送金(1R合計162,500円)(公衆安全・市民・アラート)。

2月22日 PMJF献金(L木立精一・3回目)147,263円
(1,000ドル)(指定:奉仕に力を資金)(国際プログラム)。

■青森まほろばLC

2月2日 青森市立筒井小学校にて児童を対象に薬物乱用防止教室を開催(講師:L平山豊和)。

2月4日 イトーヨーカドー青森店にて能登半島地震募金活動アクティビティを実施。L15名参加(労力奉仕55時間)。

2月14日 地区アラート委員会実施。能登半島地震災害への炊き出しに関わる支援金として19,264円拠出。

2月16日 募金活動アクティビティにて集めた寄付金172,986円をLCIFへ送金(能登半島地震災害指定)。

2月22日 能登半島地震災害直接支援協力。クラブより10,000円拠出。

2月29日 青森山田高等学校にて生徒を対象に薬物乱用防止教室を開催(講師:L平山豊和)。

2月26日 「1R元地区ガバナーを囲む合同例会」ドネーションを、地区アラート委員会実施。能登半島地震災害への炊き出しに関わる支援金として、地区キャビネットに9,632円送金
(1R合計162,500円)。

■青森ねぶたLC

2月9日 332-A地区が能登半島地震災害支援活動として、輪島市の被災した方々に7,000食の炊き出し及び能登町にリンゴジュース5,000本寄贈した。参加L5名、一般2名(9時間×18人

■青森ZERO LC

2月9日 332-A地区が能登半島地震災害支援活動として、輪島市の被災した方々に7,000食の炊き出し及び能登町にリンゴジュース5,000本寄贈した。参加L5名、一般2名(9時間×18人

■青森BLUE LC

2月 青森まほろばライオンズクラブ合同アクティビティ能登半島地震被災地支援募金活動。

2月 スペシャルティークラブ合同アクティビティ(ホタテ産業支援チャリティ in 夜越山)。

2月 青森まほろばライオンズ合同アクティビティ(Wai Waiハウス様建物補強解体作業)。

■青森中央LC

2月3・4日 青森中央・みちのく縄文LC3LC合同「国際平和ポスターコンテスト応募作品展示」を、青森市駅前スクエアで実施。

2月13日 LCIF80^{ドル}献金(先の20^{ドル}献金と合わせて100^{ドル})。80^{ドル}×RATE=11,998円。L徳差誠悦。

162時間)(社会奉仕)。
2月24日 332-A地区能登半島地震災害支援金として30,000円振込(社会奉仕)。

2月 青森まほろばライオンズクラブ合同アクティビティ能登半島地震被災地支援募金活動。

2月 スペシャルティークラブ合同アクティビティ(ホタテ産業支援チャリティ in 夜越山)。

2月 青森まほろばライオンズ合同アクティビティ(Wai Waiハウス様建物補強解体作業)。

■青森中央LC

2月3・4日 青森中央・みちのく縄文LC3LC合同「国際平和ポスターコンテスト応募作品展示」を、青森市駅前スクエアで実施。

2月13日 LCIF80^{ドル}献金(先の20^{ドル}献金と合わせて100^{ドル})。80^{ドル}×RATE=11,998円。L徳差誠悦。

2月14日 「1R元地区ガバナーを囲む合同例会」ドネーションを地区アラート委員会実施。能登半島災害への炊き出しに関わる支援金として20,428円寄付(1R合計162,500円)。

■青森みちのくLC

2月22日 青森みちのくLC「第13回青森県産酒・新酒を楽しむ夕べ」チャリティ・パーティー広告協賛。10,000円。

2月22日 青森みちのくLC「第13回青森県産酒・新酒を楽しむ夕べ」チャリティ・パーティー広告協賛。10,000円。



■青森八甲LC

2月6日 児童養護施設を高校卒業と同時に退所する子供たちが社会へ旅立つための支援金を「藤聖母園」へ寄贈。50,000円(社会福祉・市民)。

2月14日 「1R元地区ガバナーを囲む合同例会」のドネーションを地区アラート委員会の能登半島地震災害への炊き出し支援金として地区キャビネットに10,836円送金(公衆安全・災害支援)(1R合計162,500円)。

■青森みちのくLC

2月2日 日本盲導犬協会賛助。10,000円。

2月3・4日 青森中央・みちのく、縄文LC 3LC合同「国際平和ボスターコンサート応募作品展示」を、青森市駅前スクエアで実施。

2月14日 「1R元地区ガバナーを囲む合同例会」ドネーションを地区アラート委員会実施。能登半島災害への炊き出しに関わる支援金として12,040円寄付(1R合計162,500円)。

2月22日 「第13回青森県産酒・新酒を楽しむ夕べ」チャリテイ・パーティ開催。収益金の一部を「ダメ。ゼッタイ」普及運動と「能登半島地震災害支援募金」に贈られた。

※詳細は機関誌19頁に記載

■青森外ヶ浜LC

2月6日 児童養護施設を高校卒業と同時に退所する子供たちが社会へ旅立つための支援金を「藤聖母園」へ寄贈。50,000円(社会福祉・市民)。

2月14日 「1R元地区ガバナーを囲む合同例会」のドネーションを地区アラート委員会の能登半島地震災害への炊き出し支援金として地区キャビネットに3,612円送金(公衆安全・災害支援)(1R合計162,500円)。

■青森縄文LC

2月6日 青森八甲・青森外ヶ浜・青森縄文LC合同新年例会アクティビティとして、藤聖母園へ、児童養護施設を高校卒業と同時に退所される子どもたちが社会へ旅立つための支援金を贈呈。各50,000円(3LC合計150,000円)。

2月14日 「1R元地区ガバナーを囲む合同例会」ドネーションを地区アラート委員会実施。能登半島災害への炊き出しに関わる支援金として9,632円寄付(1R合計162,500円)。

2月22日 青森みちのくLC「第13回青森県産酒・新酒を楽しむ夕べ」チャリテイ・パーティ広告協賛。5,000円。

■青森みらいLC

2月12日 第1回AMLU-12

ファイナルCUPフットサル大会開催。選手120名。参加L7名。56時間。費用62,809円。

※詳細は機関誌12頁に記載

2月13日 地区アラート委員会実施。能登半島災害への炊き出しに関わる支援金として20,000円寄付。

2月14日 「1R元地区ガバナーを囲む合同例会」ドネーションを地区アラート委員会実施。能登半島災害への炊き出しに関わる支援金として112,040円寄付(1R合計162,500円)。

■青森みちのくLC

2月22日 青森みちのくLC「第13回青森県産酒・新酒を楽しむ夕べ」チャリテイ・パーティ広告協賛。10,000円。

■ひらなDreamLC

1月 能登半島地震復興支援のためのLCIF寄付30,000円。

2月20日 平内町夜越山スキー場にて開催されたドリフレスにてホタテ産業支援としてイベントを開催いたしました。イベントではホタテ産業支援、能登半島地震義援金、小児がん支援、献血、スキーの譲渡会を行いました。義援金については合同アクティビティとして青森BLUELC、青森OceanLCと行った為参加人数割合で分けました。

能登半島地震義援金54,040円(内当クラブ38,028円)キャビネット事務局経由。

2月 献血受付24名。採血20名(400ml・19名、200ml1名)。

■青森OceanLC

2月28日 青森市立東中学校生徒会よりリサイクル眼鏡の贈呈。出席者・三役、L大矢ガバナー他キャビネット事務局。※東奥日報社の取材あり※2月29日付東奥日報に掲載。



■弘前東奥LC

2月3日 東地区ちいきの絆食堂へお米60kg贈呈。場所・JAつがる弘前本店、出席者・3名、L齊藤悟(米60kg寄付)。

2月4日 第58回津軽雪上ラグビー大会、そば300食振舞い。

2月10・12日 能登半島地震直接支援炊出し参加L2名、石川県輪島市。内容・そば300食を提供

2月12日 「能登半島地震災害直接支援」能登町全小中学校へりんごジュースを寄贈に参加。

■弘前チェリーLC

2月10日 能登半島地震災害直接支援協力。提供支援・おかず海苔12個×3箱。事業費10,800円。

2月11日 「第38回薬害防止キャンペーン」チョコチョコ大作戦」実施。配布個数500個(防犯チラシ・冊子、ポケットティッシュ、チョコレート)参加16名(L11名、FM・LL4名、手伝い1名)。

事業費94,834円。

※詳細は機関誌14頁に記載

2月23日 「2024弘前チェリーLC

U-14サッカー大会(第4回)開催。参加し8名。事業費117,770円。

※詳細は機関誌12頁に記載

弘前中央LC

2月28日 能登半島地震災害直接支援協力・炊き出し支援金。事業費30,000円(3口分)。

弘前津軽LC

2月12日 「弘前津軽ライオンズクラブ第11回小学生卓球大会」開催。場所・弘前市民体育館、7団体43名参加。参加し23名。事業費288,231円。

※詳細は機関誌12頁に記載

2月13日 LCIF100^{ドル}献金

29,452円(2名)。

2月20日 「新一年生おめでとう特集」広告料11,000円。

弘前西LC

2月25日 第22回弘前西ライオンズクラブドッジボール大会実施、300名分豚汁提供。参加人数約250名、参加し10名。事業費687,292円。

※詳細は機関誌13頁に記載

3R

平賀LC

2月14日 国際平和ポスター参加校へお礼訪問。4校36名の応募者に賞状・賞品・参加賞の伝達依頼をし

た。55,000円。

2月21日 災害直接支援協力として「炊き出しに関わる支援金」に

30,000円を寄付。

黒石烏城LC

2月10日 雪を固めた土俵の上で、津軽伝統遊具のコマ「ずぐり」を回し、その回る時間を競う「全日本ずぐり回し大会」支援。150人の老若男女が参加した大会の審判員として、6名のメンバを派遣し地域のイベントを支援した。

※詳細は機関誌表紙に記載

田舎館LC

2月15日 青少年健全育成事業の一環として、継続事業19年連続・ライオンズ国際平和ポスターコンテスト田舎館作品展示会を、地域住民が多く交流する田舎館村役場庁舎エントランスホールを会場に開催。「夢見る勇気を」をテーマとした第36回ライオンズ国際平和ポスターコンテストに応募した田舎館村立田舎館小学校6学年の全作品64点を展示した。作品の下段には氏名と平和に関する子ども達のコメントを掲示し、平和への強い思いが来場者に深い感銘を与えた。このことは地元紙の津軽新報で大きく報道され、平和への波動が広がった。佳作の斉藤碧央生さんには地区ガバナーL大矢進からは表彰状と記念品を伝達し、田舎館

ライオンズクラブからは受賞者2

名(最優秀賞・斉藤碧央生さんと優秀賞・葛西佑莉さん)に表彰状とトロフィー、応募者64名全員に蛍光ペン5色セットを記念品として贈

呈した。参加し5名。労力奉仕延時間10時間。事業費¥37,556円。

2月13日 3RIZ・4LC交流合同例会(2月第1例会)で、ドネーションを獲得。事業資金獲得額

¥6,000円。ドネーション参加し6名。

2月26日 令和6年田舎館村新入

生用交通防犯用具贈呈式を2月第2例会の席上で開催。青少年健全育成事業の一環として、田舎館村立田舎館小学校校長(中村康氏)をお招きし、4月の新入児童53名分の「蛍光ランドセルカバー」防犯ブザーを贈呈。

・(蛍光ランドセルカバー)事業継続年数44年。事業費¥17,039円。

・(防犯ブザー)事業継続年数14年。事業費¥34,450円。

2月26日 令和6年田舎館村新入

生用交通防犯用具贈呈式を2月第2例会の席上で開催。青少年健全育成事業の一環として、田舎館村立田舎館中学校校長(工藤学氏)をお招きし、4月の新入生66名分の自転車反射材(サイクリングフレクター)/2個セットを贈呈。事業継続年数24年。事業費¥10,153円。

2月26日 2月第2例会でドネー

ションを獲得。事業資金獲得額8,000円。ドネーション参加し8名。

2月28日 LCIF20^{ドル}献金

(147,262497円×20^{ドル}×13名)として、国際協会送金専用口座へ送金。事業費¥38,289円。参加し13名。

五所川原LC

2月19日 能登半島地震復興支援として、122,000円をキャビネットへ送金。

つがるLC

2月 成分献血1名・1回。
2月 あいうえおの会ポウリング大会に30,000円分の景品を贈呈しました。

4R

三沢LC

2月3日 三沢市バレーボール協会祝賀会協賛金6,000円。1月協会会長出席。

2月16日 能登半島地震災害直接支

援義援金30,000円。3321A地区へ送金。

2月24日 青少年健全育成事業「三

沢ライオンズクラブ旗杯小学生バレーボール大会」協賛金

145,000円。参加し8名。

十和田LC

2月1日 「第2回十和田LC和

交流を深めました。蕪島まつり実行委員長でもある武輪俊彦商工会議所会頭からは、昨年の蕪島まつりでの強風時のテント撤収のお手伝いに、改めて感謝の言葉を頂戴しました。

■八戸中央LC

2月29日 国際平和ポスターコンテスト参加者(吹上小学校6年生75名)へ記念品を贈呈。43,500円。

■八戸白鷺LC

2月21日 国際平和ポスター展に参加していただいた八戸市立中居林小学校へ出展お礼と賞状及び図書カード(60名分35,000円)を寄贈。又、備品購入費として20,000円を寄贈。



2月29日

1月5日～9日まで行われました第47回八戸白鷺ライオンズクラブ争奪青森県中学校アイスホッケー大会。事業費284,666円。

■八戸東LC

2月14日 能登半島地震災害直接支援協力金として炊き出しに関する支援金(1口)10,000円を送金した。

2024年2月22日(木)ウエディングプラザアラスカにおいて、青森みちのくライオンズクラブ主催による「第13回青森県産酒・新酒を楽しむタベ」チャリティパーティーが開催されました。新酒が出そろう2月から3月に毎年行われているこのパーティーもコロナ渦で中断がありました。今年で13回を数えました。

開催前に、1月に発生した能登半島地震の被災者に対して黙祷がささげられました。青森みちのくライオンズ会長L野沢正樹の歓迎の挨拶に続き、薬物乱用防止のビデオ「Think about drugs 私たちの選択」が上映されました。その後、野沢正樹より薬物乱用防止についてお話があり、参加者は配布されたパンフレットを見ながら熱心に勉強しておりました。改めて薬物乱用の恐ろしさを感じていたようです。地区ガバナール大矢進の乾杯で皆さんお待ちかねのパーティーが始まりました。

今年16の蔵元が協賛し40種類の銘柄が各蔵元のブースに並べられました。自称、酒通の参加者はこの酒は、味・香り・バランスが良いなどとうんちくを並べ、新酒を楽しんでいました。その後抽選会があり、当選者から沢山のドネーションを頂き、午後9時にお開きとなりました。

この日の収益金の一部は「ダメ。ゼッタイ。普及運動」能登半島地震被災者支援募金に贈られました。

1R2Z機関誌特派員
L藤森 憲



Tomoshibi+(ともしびプラス)寄付金贈呈式

令和6年2月29日(木)14時～ SCP・FWTの活動としてキャビネット幹事の庄司興業所にて、小児がんの子供と家族の為に活動をしている団体のTomoshibi+(ともしびプラス)(代表米田親弘)に、ガバナー公式訪問合同例会時などでレモネード、アップルスタンドでご協力頂いた募金の一部、金200,000円の寄付金贈呈式を開催致しました。

ともしびプラスは、令和6年2月9日に八戸工業大学第二高校で、医療系分野の道を目指す生徒を中心に、小児がんの子供と家族の現状を伝えるための小児がん啓発セミナーなども積極的に開催しています。

大矢ガバナーから目録を頂渡された米田代表は「支援の輪を広げる為に大切にに使わせていただきます」と感謝しました。

また、残りの募金も6月までに2、3ヶ所に寄付する予定なので、改めてご報告いたします。

SCP・FWTコーディネーター L鳴海 ひとみ



メルビン・ジョーンズ・フェロー献金



送金日	氏名	所属LC	献金額(円)	回数
2月22日	L木立 精一	青森かもめ	147,263	3

LCIF献金クラブ



送金日	クラブ名	献金人数	献金額(円)
2月21日	八戸三八城LC	19	55,974
2月28日	田舎館LC	13	38,289

LCIF100キャンペーン献金



送金日	氏名	所属LC	献金額(円)
2023年8月23日	L徳差 誠悦	青森中央	2,815
2月13日			11,781
2月13日	L太田 浩幸	弘前津軽	14,726
2月13日	L吉澤 俊寿	弘前津軽	14,726



庄司興業所の
ワンストップ
サービス
SYOJI
ONE STOP SERVICE

環境にやさしい工事と廃棄物の再生資源化を目指します

建設リサイクル対応企業・特定建設業

株式会社 庄司興業所

代表取締役
キャビネット幹事 L庄司 肇 (青森まほろばLC)

〒039-1107 八戸市櫛引字井ヶ月1-44
TEL 0178-27-1328・FAX 0178-27-3576
[URL] <https://www.syouji.jp>

金属と自動車の総合リサイクル業 優良認定産業廃棄物収集運搬・中間処理・処分業



Resource
Recycling
Aomori Shigen

～ 限りある資源を大切に ～

株式会社 青森資源®

2023～2024 キャビネット会計

代表取締役 L加賀谷 栄徳 (青森まほろばLC)

〒030-0955 青森県青森市大字駒込字桐ノ沢121-3
TEL 0120-8919-82 / FAX 017-741-5256



AOMORI
SDGs



カンくん、ボトくんは、青森資源のオリジナルキャラクターです。



たまい さだみ
玉井 定美
(八戸中央LC)

2024年2月20日
ご逝去
(享年94歳)



なかい まさひろ
中居 雅博
(八戸LC)

2024年3月18日
ご逝去
(享年75歳)



のむら まさき
野村 全規
(八戸東LC)

2024年3月26日
ご逝去
(享年65歳)



あきもと ひろし
秋元 博
(弘前LC)

2024年3月29日
ご逝去
(享年84歳)

謹んで哀悼の意を表し
ご冥福をお祈り申し上げます

物故会員

332-A地区 新入会員紹介

2024年2月入会・合計15名

正会員

クラブ名	会員名 (ふりがな)	職 業	スポンサー
青 森 Z E R O	長 崎 習 作 (ながさき しゅうさく)	商 社	L 齋藤 忠幸
弘 前 東 奥 L C	三 浦 公 知 (みうら こうち)	自 営 業	L 一戸 成子
弘 前 東 奥 L C 弘前Beauty支部	工 藤 裕 子 (くどう ゆうこ)	保 険 業	L 一戸 成子
弘 前 東 奥 L C 弘前Beauty支部	吉 崎 由 香 子 (よしざき ゆかこ)	メ デ ィ ア	L 一戸 成子
弘 前 東 奥 L C 弘前Beauty支部	齊 藤 裕 希 (さいとう ゆうき)	医 療 / 歯 科 / 健 康	L 齊藤 悟
弘 前 東 奥 L C 弘前Beauty支部	小 山 内 美 幸 (おさない みゆき)	家 事 専 業	L 一戸 成子
弘 前 東 奥 L C 弘前Beauty支部	黒 瀧 くるみ (くろたき くるみ)	販 売 / 小 売	L 一戸 成子
田 舎 館	鈴 木 哲 也 (すずき てつや)	建 設 業	L 相馬 繁
東 通	坂 本 信 夫 (さかもと のぶお)	村 会 議 員	L 南川 誠一
東 通	下 川 一 樹 (しもかわ かずき)	建 設 業	L 竹林 政人
下 北 ネ ク ス ト	新 谷 周 二 (あらや しゅうじ)	電 気 工 事	L 千葉 博之
下 北 ネ ク ス ト	成 田 大 和 (なりた まさかず)	水 産 業	L 千葉 博之
下 北 ネ ク ス ト	畠 山 善 光 (はたけやま よしみつ)	税 理 士	L 千葉 博之

家族会員

クラブ名	会員名 (ふりがな)	スポンサー
弘 前	櫻 庭 美 咲 (さくらば みさき)	L 櫻庭 武志
弘 前	長 谷 川 む つ 子 (はせがわ むつこ)	L 長谷川 桂二郎

332-A地区会員動向 ServannA(基本集計表)による **LC数 / 64** 2024年2月29日付

R	Z	クラブ名	1月末	2月末	内家族会員	内賛助会員	増減
1	1	青森	49	49	6	4	0
		青森うとう	33	33	10	5	0
		青森はまなす	28	28	0	2	0
		青森かもめ	16	16	0	0	0
		青森まほろば	53	53	9	7	0
		青森ねぶた	36	35	0	4	-1
		青森ZERO	26	27	1	4	1
		青森BLUE	17	17	0	0	0
		青森ネクストリーダー	24	24	0	0	0
		小計	282	282	26	26	0
	2	青森中央	41	41	3	0	0
		青森八甲	29	29	4	0	0
		青森みちのく	17	17	3	2	0
		青森外ヶ浜	20	20	0	1	0
		青森縄文	14	14	2	1	0
		青森みらい	28	28	4	2	0
		ひらないDream	30	30	8	0	0
		青森Ocean	26	26	1	0	0
		小計	205	205	25	6	0
合計	487	487	51	32	0		
2	1	弘前	85	87	27	7	2
		弘前東奥	54	60	19	2	6
		弘前SDGs	24	24	6	0	0
		弘前ALERT	21	21	6	0	0
		小計	184	192	58	9	8
	2	弘前チェリー	43	43	9	2	0
		岩木	18	18	3	0	0
		弘前中央	17	17	3	3	0
		弘前津軽	42	42	5	2	0
		弘前西	27	25	8	1	-2
		小計	147	145	28	8	-2
		合計	331	337	86	17	6
		3	1	黒石	45	45	8
平賀	38			38	11	2	0
黒石烏城	90			90	32	0	0
田舎館	12			13	0	0	1
小計	185			186	51	2	1
2	五所川原		66	66	4	9	0
	鶴田		30	30	0	0	0
	深浦		5	5	0	1	0
	五所川原東日流		35	35	0	0	0
	五所川原中央		28	28	4	1	0
	小計		164	164	8	11	0

R	Z	クラブ名	1月末	2月末	内家族会員	内賛助会員	増減
3	3	つがる	22	22	0	0	0
		鱈ヶ沢	26	26	6	0	0
		中泊	22	22	2	0	0
		小計	70	70	8	0	0
	合計	419	420	67	13	1	
4	1	三沢	36	36	8	1	0
		十和田	41	41	10	5	0
		十和田稲生	19	19	5	4	0
		野辺地	11	11	3	1	0
		十和田湖	17	17	5	2	0
		十和田おいらせ	25	25	1	5	0
		三沢木崎野	52	52	17	1	0
	小計	201	201	49	19	0	
	2	むつ	61	61	18	8	0
		東通	29	31	11	0	2
		大間	15	15	4	1	0
		むつみらい	10	10	2	0	0
		下北ネクスト	24	27	0	0	3
小計		139	144	35	9	5	
合計	340	345	84	28	5		
5	1	八戸	66	66	7	3	0
		八戸三八城	23	23	2	2	0
		八戸城北	30	30	8	2	0
		八戸うみねこ	57	57	2	0	0
		三戸	27	27	1	5	0
		八戸きれい海	28	28	3	0	0
		八戸ゴルフ	34	34	0	0	0
		八戸工大ばんらぼ	21	21	0	0	0
	小計	286	286	23	12	0	
	2	八戸中央	54	54	7	4	0
		八戸白鷗	20	20	2	2	0
		八戸まべち	9	9	0	0	0
		八戸東	53	53	14	0	0
		五戸お祭り	15	15	0	0	0
八戸田名部組		21	21	0	0	0	
小計	172	172	23	6	0		
合計	458	458	46	18	0		
総計	2,034	2,046	334	108	12		

電材卸
株式会社 東電

IT・機関誌委員長
代表取締役 **L 菊池 剛志**
(青森まほろばLC)

〒030-0112 青森市八ッ役字芦谷273-13
TEL 017-739-8153(代) FAX 017-739-8269

[石材施工一級技能士在任の店]



有限会社 **石の店 匠**

GET副コーディネーター(青森LC)
代表取締役 **L 八重樫 勝**

〒030-0135 青森市大字新町野字菅谷72-3
TEL 017-764-4420 <http://www.stone-takumi.co.jp/>

常設展示場



第1部 13:30~15:00 コンサート

ウクライナの歌姫 ナターシャ・グジー ～ 水晶の歌声とバンドゥーラの可憐な響き ～

第2部 15:15~17:00 パネルディスカッション

「地球への貢献」

- ・コーディネーター:一般社団法人日本ライオンズ理事長
ライオンズクラブ国際協会332-A地区 常任名誉顧問 L田名部 智之
- ・パネラー:332-A地区 全スペシャルティークラブ会長

主催
ライオンズクラブ国際協会332-A地区 第70回年次大会実行委員会
後援
青森市教育委員会



2024年5月18日(土) 時間 [開場]12時45分 [開演]13時30分 場所 リンクステーションホール青森 全席自由席



LIONS DAY LCIF 人道支援 「平和への祈り」

ライオンズクラブが、青少年健全育成事業の一環として活動している「国際平和ポスターコンテスト」に参加していただいた小中学生・保護者の方、ならびに担当された学校教職員の観覧希望者様には、招待券を配布いたしますので、イベント当日に招待券を受付へお渡しください。注)未就学児の入場はできません。

- ◎ご協賛を募集しております。ご協力いただける方は、所属クラブにお申込みをお願いいたします。尚、ご協賛いただいた方には入場券を進呈いたします。
- ◎入場希望の方は、ご協賛を所属クラブにお申込みいただき、後日入場券を送付しますので、所属クラブ事務局よりお受け取りください。入場券は、イベント当日に受付へお渡しください。

お問合せ **ライオンズクラブ国際協会332-A地区 キャビネット事務局**

〒030-0801 青森県青森市新町2-8-26 県火災あおもりビル4F TEL 017-718-8121・FAX 017-718-8122
e-mail: cab-332a@abeam.ocn.ne.jp URL <https://lions332a.jp/>





編集後記

編集長の独り言

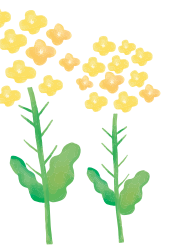
桜前線の便りが届き、当4月号発刊の頃には花・満開に咲き誇り、一気に春を迎えている事でしょう。自然の逞しさと優雅さを感じます。皆様の今期の集大成に向けて、活動お疲れ様です。

今回の表紙は「全日本ずぐり回し選手権大会」を支援が表紙を飾りました。黒石市の冬のイベント支援や津軽地方の伝統文化の次世代への伝承と継続17年目のアクティビティになります。また、コロナ禍を過ぎ、幼稚園・保育園児から高齢のベテランまで150人の老若男女の参加者が多く賑やかな大会と素敵なアクティビティです。今後も継続アクティビティとして努められることと思います。

次に、クローズアップ・アクティビティは、「スポーツ特集」と「薬害防止キャンペーン」チョコチョコ大作戦」を掲載しております。子供達の冬の寒さにも負けない競技・大会を4クラブサポートとタイムリでユニークで地道な薬害防止キャンペーン。青少年健全育成の素敵な継続アクティビティです。皆様、お疲れ様です。

そして、青森縄文ライオンズクラブ結成20周年記念式典と八戸三八城ライオンズクラブCN45周年記念式典、おめでとうございます。能登半島地震復興支援報告「CLUB ACTIVITY」コロナ禍過ぎの第13回青森県産酒・新酒を楽しむ夕べ」ともしびプラス寄付金贈呈式と掲載しております。皆様、お疲れ様です。

最後に、当月は12名の入会を頂きました。また、リジョン別会員名簿完成致しました。ご活用宜しくお願いたします。有難うございます。年次大会の準備のラストパートのご協力をお願いし、編集後記といたします。



IT・機関誌委員長

L菊池 剛志

URL <https://lions332a.jp/>

地区ホームページで
機関誌をご覧になれます！



スマホや
タブレットで
QRコードを
スキャン!!

●●● 広告募集 ●●●

ライオンみちのく誌の広告を募集しております。
ご協力をお願いします。

A	広告サイズ 46mm(タテ) × 57mm(ヨコ)	料金.....	3,000円
B	広告サイズ 46mm(タテ) × 86.5mm(ヨコ)	料金.....	5,000円
C	広告サイズ 46mm(タテ) × 175mm(ヨコ)	料金.....	10,000円

※掲載希望の方はキャビネット事務局へお申し込みください。

ライオンズクラブ国際協会332-A地区 キャビネット事務局

Lion ライオンみちのく編集局

〒030-0801 青森県青森市新町2-8-26 県火災あおもりビル4F
TEL.017-718-8121・FAX.017-718-8122
E-mail cab-332a@abeam.ocn.ne.jp

名刺・封筒・伝票・チラシ・ポスター・シール・書籍
パンフレット 等 印刷物全般

DESIGN TAKAGI

IT・機関誌委員 高木 稔
＜弘前東奥ライオンズクラブ＞

〒036-8319 弘前市藤内町 12-8
TEL:0172-34-1809 FAX:0172-55-0309
E-mail:minborio2000@yahoo.co.jp

総合建設業 一級建築士事務所
ビルも、住宅も・・・やさしい空間づくりを

株式会社 黄金工務店

代表取締役 L 黄金崎 勉 (青森LC)
IR2Z ゾーンチェアパーソン
専務取締役 L 黄金崎 亨 (青森みらいLC)
〒030-0911 青森市造道二丁目10番17号
TEL (741)8451(代) FAX (742)5218

信頼と共に80年

株式会社 西村組

NISHIMURAGUMI

GLT副コーディネーター/国際協調・国際平和ポスター委員長
/キャビネット副幹事
代表取締役 L 太田 浩幸 (弘前津軽LC)
〒036-8054 弘前市大字田町三丁目2番地1
TEL 0172-32-2468 FAX 0172-32-2460
URL <https://www.nishimuragumi.jp>

日新建工株式会社 東北支店

NISSHIN KENKO CO., LTD

青森出張所 所長 L 出町 時彦 (青森LC会長)
〒030-0802 青森市本町4丁目2番16号
(ヤマイシ本町マンション1F)
TEL.017 (762) 7495 FAX:017 (762) 7496
E-mail t.demachi@nissin-kenko.co.jp
携帯.090-6220-0394